


**第2期瑞浪市教育振興基本計画
みずなみ教育プラン
別冊（市長部局管轄分）（案）**

令和5年11月
瑞浪市 教育委員会



目次

瑞浪市の教育における現状と課題	3
1 社会教育	3
2 生涯スポーツ.....	5
3 文化・芸術・文化財.....	6
4 教育における課題	7
基本計画	13
基本目標 ともに学び支え合う社会教育の推進	13
施策1 多世代の多様なニーズに対応した生涯学習の機会の提供.....	13
施策2 地域での子育てに係る学習環境の整備.....	15
施策3 シニア世代の活躍の場づくり	16
施策4 地域で活躍する人材の発掘と育成	17
基本目標 誰もが気軽に親しめる生涯スポーツの推進	18
施策1 スポーツの場の充実	18
施策2 スポーツの機会の充実と魅力の発信	20
施策3 スポーツ推進委員の活用	22
施策4 体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携	23
基本目標 郷土愛を育む文化・芸術の振興	24
施策1 文化財の調査・保存・伝承等の推進	24
施策2 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実	26
施策3 文化施設の充実.....	28
施策4 文化芸術活動団体の支援.....	29
資料編	33
1 用語集	33



瑞浪市の教育における現状と課題

瑞浪市の教育における現状と課題

1 社会教育

(1) 公民館講座等の状況

令和4年度の公民館講座数は141件、参加者数は7,259人となっています。

■ 公民館の講座数及び参加者数

上段：(件) 下段：(人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
講座数	118	122	136	89	115	141
参加者数	16,113	16,585	13,805	4,546	5,668	7,259

※令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、講座数、参加者数が減少しています

(2) 公民館の利用状況

令和4年度の利用者数は91,937人となっています。

■ 公民館利用者数の推移

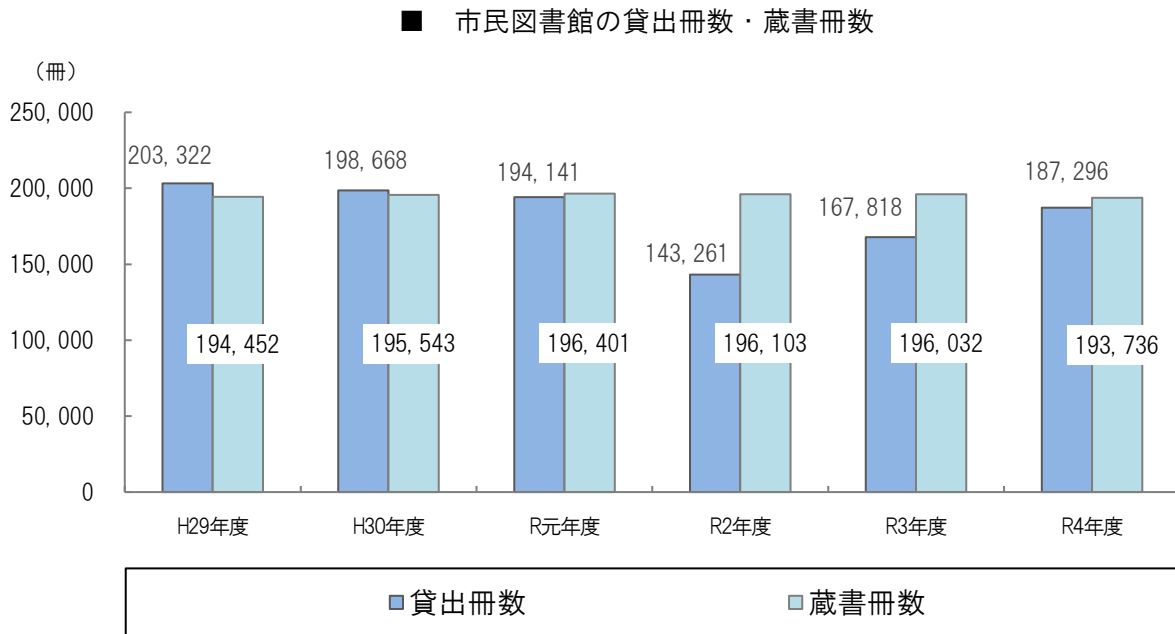
(人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
中央公民館	94,608	94,739	78,385	26,831	29,588	31,571
陶公民館	22,973	21,077	19,516	6,628	15,704	12,679
稲津公民館	42,919	41,289	36,308	17,259	17,838	25,048
日吉公民館	10,060	11,956	11,027	3,898	7,341	7,314
釜戸公民館	26,767	29,947	21,546	9,496	10,859	12,999
大湫公民館	4,888	3,540	4,371	1,818	2,461	2,326
合計	202,215	202,548	171,153	65,930	83,791	91,937

※令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症予防のための臨時休館等により、利用者数が減少しています

(3)市民図書館の利用状況

市民図書館の貸出冊数は、令和2年度に大きく減少しましたが、その後徐々に増加傾向にあります。蔵書冊数は、令和4年度で前年度比2,296冊減の193,736冊となっています。



※令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症予防のための臨時休館等により、貸出数が減少しています

2 生涯スポーツ

(1) 体育関連施設の利用状況

利用者数は施設により増減幅に差があります。全体としては、市民アーチェリー場を除く施設で令和2年度に大きく減少しましたが、その後徐々に増加傾向にあります。

■ 体育関連施設の利用者数の推移

(人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民体育館	110,001	106,939	91,453	26,078	32,005	58,431
市民野球場	6,824	10,120	11,428	5,326	4,024	6,363
樽の上野球場	6,793	6,915	7,885	2,360	1,478	2,578
市民競技場	7,053	4,499	8,269	5,459	4,194	8,463
市民テニスコート	32,351	29,756	25,475	13,348	16,764	23,329
市民アーチェリー場	198	17	40	54	130	98
市民弓道場	6,425	7,478	6,416	3,059	4,424	5,829
日吉スポーツ施設	13,705	13,237	12,718	9,791	9,250	16,337
学校開放(体育館)	102,808	98,791	99,681	60,146	56,427	134,127
合計	286,158	277,752	263,365	125,621	128,696	255,555

※狭間川テニスコートの利用者数は、市民テニスコートに含む

※令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症予防のための臨時休館等により、利用者数が減少しています

(2) スポーツ少年団の状況

令和4年度のスポーツ少年団の登録団数は14団体、登録人数は272人、登録指導者数は55人で、年々、減少傾向にあります。

■ スポーツ少年団の登録団数、登録人数、登録指導者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録団数(件)	19	20	20	19	15	14
登録人数(人)	400	427	406	318	277	272
男性(人)	234	279	259	215	181	175
女性(人)	166	148	147	103	96	97
登録指導者数(人)	83	83	71	84	64	55

3 文化・芸術・文化財

(1) 教育関連施設の利用状況

利用者数は施設により増減幅に差があります。全体としては、令和2年度に大きく減少しましたが、その後は増減しながら推移しています。

■ 教育関連施設の利用者数の推移

(人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
化石博物館	25,378	26,503	26,471	17,236	21,361	24,666
陶磁資料館	9,173	6,947	6,366	3,200	5,505	3,475
市之瀬廣太記念 美術館	6,037	6,830	6,306	2,542	4,977	3,034
地球回廊	32,917	30,133	31,564	25,890	—	—
自然ふれあい館	8,774	9,896	10,126	3,251	4,871	11,826
総合文化センター 文化ホール	42,132	45,431	37,561	10,959	11,158	7,037
総合文化センター 展示室	10,769	10,649	7,481	4,658	6,272	1,496
合 計	135,180	136,389	125,875	67,736	54,144	51,534

※令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症予防のための臨時休館等により、利用者数が減少しています

(2) 指定文化財・天然記念物の状況

国指定文化財は名勝天然記念物・天然記念物・史跡があわせて4件指定されています。県指定文化財は17件、市指定文化財は73件、国登録有形文化財は11件となっています。

■ 国・県指定文化財・天然記念物

(件)

国指定文化財			県指定文化財	市指定文化財	国登録有形文化財
名勝天然記念物	天然記念物	史跡			
1	2	1	17	73	11

※令和5(2023)年●月●日現在

4 教育における課題

(1)社会教育

課題1 生涯学習に取り組むきっかけづくり

市民アンケートにおいて、この1年間に生涯学習に取り組んだことがないと回答した人が40.9%を占めています。取り組んでいない理由をみると、「忙しくて時間がない」(40.1%)が最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(19.7%)、「特に理由はない」(17.2%)の割合が高くなっています。保護者アンケートにおいても、生涯学習の活動をしたことが「ない」「今はしていない」を合わせると83.6%と大多数を占めており、自主的な活動を行わない理由をみると、「時間的に余裕がない」(58.8%)が最も高く、次いで「情報がない、入手の方法がわからない」(27.8%)となっています。

市民の多様なニーズに対応した学習機会を提供できるよう、生涯学習講座等の内容の充実化を図るとともに、多くの人の興味関心を得ることができるよう、開催情報や生涯学習の魅力を効果的に発信することが必要です。

課題2 家庭教育の充実と青少年の健全育成

近年、少子化、核家族化、共働き世帯の増加など、家庭をめぐる状況の変化に伴い、家庭の教育力の低下が懸念されています。児童虐待相談件数の急速な増加などの家庭をめぐる問題が複雑化する中、社会全体で家庭における教育力の充実を図っていくことが求められています。そして、地域が、積極的に児童生徒及び青少年を育てるという姿勢にたち、豊かな心の育成や心身の成長へとつなげていくことが必要です。

課題3 児童生徒と地域とのつながり強化

市民アンケートにおいて、子どもたちへの教育において、何が課題であるかについてみると、「家庭・地域・学校の連携の強化」が、今後市が力を入れるべき施策として重要視されていることから、児童生徒と地域とのつながりを作り、強化していくことが必要です。



(2)生涯スポーツ

課題1 スポーツの場の充実

市民アンケートにおいて、施設自体を「知らない」、「利用したことがない」との回答が、瑞浪市民体育館は51.3%と約半数を占め、アーチェリー場、弓道場では80%を超えています。スポーツ教室などのイベントや、スポーツ施設についての情報発信を行い、スポーツおよびスポーツ施設への関心を高めていただくことが必要です。

課題2 スポーツ教室・交流会の充実・スポーツをする機会の情報提供

市民アンケートにおいて、市民がスポーツに親しみやすくするために、今後、市が力を入れるべきであると思うものについてみると、「スポーツ教室や交流会の充実」が24.7%、「スポーツに関する情報提供」が19.5%と比較的多い状況です。スポーツ教室等の充実・情報提供に努める必要がありますが、開催に際しては参加者や施設利用者の声を吸い上げ、各公民館事業等と重ならない内容の検討が必要です。またSNS等も活用し、開催情報の発信を行っていくことが必要です。

課題3 スポーツ推進委員の活用

スポーツ推進委員は、各地域や市内全域で活動を行っています。しかし、スポーツ推進委員の存在や活動内容を知らない方も多いため、活動や取組内容について、SNS等も活用しての情報発信が必要です。

(3)文化・芸術・文化財

課題1 文化芸術活動団体の活動の活性化 文化芸術活動の支援

各種文化芸術活動団体については、発表機会の減少や団体構成員の減少による活動の停滞化が危惧されており、活動の活性化を図ることが課題となっています。

また、市民アンケートにおいて、「文化・芸術振興」のために、今後、市が力を入れるべきであると思うものについてみると、「文化・芸術に関する情報提供」が(22.1%)となっています。優れた文化芸術に触れ、気軽に親しむことができる機会の創出とともに、多くの人の興味関心を得ることができるよう、効果的に情報発信することが必要です。

課題2 伝統文化に触れる機会の充実

本市に残る数々の文化財を後世に伝えるために、各保存団体が文化財の保存と伝承に取り組まれています。そうした中で後継者の確保と育成という問題に直面しており、その解決のための支援が必要になっています。

課題3 幼稚園・学校や地域との連携

市民アンケートにおいて、学校・地域・家庭が連携協力するのに必要なことについてみると、「地域の伝統芸能・スポーツ・芸術文化活動への児童生徒の参加促進」が(27.0%)となっています。子どもの文化芸術活動の機会を適切に確保するとともに、地域の活性化にもつながる取組を支援することが必要です。

課題4 文化財の調査・保存

本市には、指定文化財や登録文化財を含む多くの文化財が残されており、これらは市の歴史や文化、自然などを知るための貴重な財産です。市民アンケートにおいても「文化財の調査と保存」が必要であるとの認識がある人は21.9%と比較的多い状況であり、文化財の価値を明らかにするために調査を継続・推進し、その成果を分かりやすく市民に伝えることが必要です。また、文化財を良好な状態で後世に伝えるため、文化財の保存・修理や伝承などの事業に対する支援を充実させることも必要です。



課題5 文化財の活用と体制の充実

市民アンケートにおいて、「文化財の公開や有効活用」や「郷土遺産に触れる機会の充実」が必要であるとの認識がある人は、21.4%、23.4%と比較的多い状況であり、見学会の開催や様々な情報発信、教育普及活動を行うなど、積極的に文化財の公開・活用を行う必要があります。また、公開・活用のためには周辺環境の整備など、定期的な管理を要する文化財もみられます。ボランティア活動などを通じてそれら管理に関わることも「郷土遺産に触れる機会の充実」に資することから、地域住民などと連携した文化財の活用体制を充実させることも必要です。

課題6 博物館機能の充実と学校・地域との連携

市民アンケートにおいて、「博物館機能や設備の充実」が必要であるとの認識がある人は11.2%とそれほど高くありませんが、博物館は文化財などの収集・調査・保存、また公開・活用を行う重要な拠点施設です。現在の博物館は、施設・設備に老朽化が認められるほか、バリアフリー未対応の部分もあり、古文書や彫刻など多様な文化財の展示・保存に適した施設とするためには、改修・更新を行ってそれら機能を充実させることが必要です。また、地域の文化財や自然などに関連した展覧会・講座の開催を継続するとともに、博物館と学校・地域住民・まちづくり組織などが一層の連携を図り、郷土への愛着・関心を高めることも必要です。



基本計画

基本計画

基本目標 ともに学び支え合う社会教育の推進

「人生100年時代」を見据え、全ての人のウェルビーイングの実現のため、生涯学習の重要性は一層高まっています。すべての人が生涯を通して学ぶことのできる環境、多様な世代への情報提供や学習成果の可視化、仲間とつながりながら学ぶことができる環境を整備することが求められています。

また、地域の教育力の低下や、地域コミュニティ機能の強化の重要性が指摘される中、全ての人が豊かな人生を送り、その時のニーズに応じて学習する機会を得ることが可能となる社会となるためには、地域のつながりの中で体験的に学ぶこと、地域における様々な活動に積極的・主体的に関わる意識を高めること、それを生涯にわたって実践していくことが必要です。

施策1 多世代の多様なニーズに対応した生涯学習の機会の提供

すべての市民が豊かで生きがいのある生活を送ることができるよう、幅広い学習の場を提供できる環境づくりを進めます。また、公民館や図書館等の施設の活用により、生涯を通じて市民の多様な興味・関心に応じた学びを提供します。

公民館では、趣味・教養や文化芸術、生活課題等に関する講座・教室等を実施するとともに、身近な学習施設、地域活動の拠点として幅広い世代が集い、情報が行き交い交流できる役割を確立します。

図書館では、市民の多様な興味・関心に対応できるよう、レファレンスサービスのさらなる支援のほか、子どもが本に触れ合う機会の提供や読書の楽しさを伝える取組など、子どもの発達段階に応じた取組を推進します。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
生涯学習関連の講座・教室の延べ参加者数	7,259 人	15,000 人
図書館の年間個人貸出冊数	187,296 冊	200,000 冊

【取組】

● 公民館における生涯学習の充実

- (1) 生涯学習・地域交流の拠点として、幅広い年齢層にわたる多様なニーズに対応した学習機会を提供します。
- (2) 地域の課題やニーズを踏まえ、個人が生涯学習を通じて得た学びを地域課題等の解決に役立てる「地域づくり型生涯学習」の推進を図ります。

● 各公民館間の情報共有

- (1) 生涯学習推進の基本方針や公民館活動の工夫・好事例等を各公民館間で共有し、各公民館の機能拡充や資質向上を図ります。

● 市民の学習機会に関する情報発信

- (1) より多くの幅広い世代の興味関心を得ることができるよう、広報、ホームページ、SNS等の多様な手段を用いて学習機会に関する情報を発信します。

● 図書館サービスの充実

- (1) 市民が求める図書及び情報を的確、適切に提供し、市民の生涯学習活動を支援します。
- (2) 読み聞かせ活動やブックスタート、ブックトーク、イベント等を通じて本や読書の楽しさを伝え、子どもの読書活動の一層の推進を図ります。
- (3) 誰もが読書を楽しむことができるよう、図書館利用や読書が困難な方の読書をサポートするサービスを拡充します。

施策2 地域での子育てに係る学習環境の整備

家庭では、核家族化や地域のつながりの希薄化により、子育てに対する不安感や負担感が増し、孤立する家庭が増加し、地域では、家庭環境の多様化や地域コミュニティの希薄化が進んでいます。

子育てを学校や家庭だけの問題と捉えず、子どもたちの育ちや学びを地域社会全体で支えていくためには、家庭・学校・地域がともに育てたい子どもの姿を共有することが大切です。

幼稚園及び小・中学校との連携を強化するとともに、子どもの成長・発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や、保護者が安心して相談や意見交換ができる環境の充実を図ります。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
各地域で実施した家庭教育学級の参加者数 (公民館講座を含む)	(延べ) 249 人	(延べ) 500 人
地域学校協働活動推進員の数	13	16

【取組】

● 地域での家庭教育に関わる学習内容の充実

- (1) 地域学校協働活動を通して、保護者や地域のニーズを把握し、魅力ある家庭教育学級や研修会等を企画、実行していきます。
- (2) 地域学校協働活動推進員を各地域に設置し、学校との連携を強化し、学校のニーズに応じた家庭教育学級や研修会を企画、実行していきます。

施策3 シニア世代の活躍の場づくり

地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」を実現するためには、多様な経験を有するシニア層の活躍が不可欠です。高齢者が地域社会において活躍できるよう、高齢期の学びを支援し、社会参加を促進できる環境整備に努めます。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
高齢者学級延べ参加者数	1,934人	3,000人

【取組】

● シニア世代の活発な活動の促進

(1) 各公民館において、シニア世代の多様なニーズに対応した学習機会を提供し、参加促進を図ります。

● 地域のシニア世代と子どもの交流の促進

(1) 保幼小中、PTA、子ども会等と連携を図り、地域のシニア世代と子どもの交流を図る事業を実施します。

施策4 地域で活躍する人材の発掘と育成

地域資源を活用した特色ある公民館・図書館の講座等を実施するためには、多様な価値観や経験を有する人材の育成・確保することが必要です。

多様な専門性を持つ人材やボランティア等と連携することで、多様な学びの充実を図ります。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
講師登録人数	43人	70人
図書館ボランティア活動への延べ参加者数	800人	900人

【取組】

● 指導者の育成

- (1) まちづくり組織等との連携により地域人材を発掘し、公民館・図書館の講座等の多様なニーズを満たす幅広い講師陣の確保につなげます。

● ボランティアの育成

- (1) 公民館・図書館のボランティアの確保に向け継続的な周知を図るとともに、ボランティアの活躍の機会の拡充を図ります。

基本目標 誰もが気軽に親しめる生涯スポーツの推進

誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツによる健康づくりを進めることが求められています。

市民が生涯にわたって心身ともに健康で活力に満ちた生活を営むため、地域スポーツの活動場所の充実、スポーツ教室や交流会の開催、各種団体への活動支援などを通じて、気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。

施策1 スポーツの場の充実

誰もがスポーツ施設を安全かつ安心して使えるよう、計画的に施設の改修・整備やバリアフリー化を促進するとともに、学校開放施設の活用を継続し、市民の生活の身近な場所に、気軽にスポーツを楽しめる場を提供するよう努めます。

【指標】


■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
市営スポーツ施設の利用者数	121,428	165,000
市民が利用できるスポーツ施設の数	8	7

【取組】

● スポーツ施設・設備の充実

- (1) 市内スポーツ施設の計画的な改修、整備を進めます。
- (2) 市内スポーツ施設の改修、整備に合わせてバリアフリー化を促進します。
- (3) 市内スポーツ施設を利用しやすいよう、利用手続きや開館時間等の改善を進めます。



● 日常的スポーツ実践のための学校施設の開放

- (1) 市内小中学校の体育館の開放を継続します。
- (2) 学校開放施設の周知と利用の促進に努めます。

● スポーツ施設に関する情報提供

- (1) 市内スポーツ施設について、利用者にわかりやすい情報提供に努めます。

施策2 スポーツの機会の充実と魅力の発信

トップアスリートとの交流やスポーツ教室・交流会を通じて、スポーツ人口の拡大や生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けた取組をおこないます。

体力や技能の程度、年齢、性別、障がいの有無等に関係なく、多くの方が運動・スポーツを楽しむことができる機会の充実に努めます。

また、スポーツに接する機会の少ない方が、スポーツの魅力を感じ、興味や関心を持てるよう、効果的な情報提供や発信方法の多様化を検討します。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
スポーツ教室や交流会への参加者数	493	540


【取組】

● トップアスリートとの交流

- (1) 小中高生を対象にスポーツをする楽しさと技術を伝える機会として、トップアスリート交流事業を市制記念事業として実施します。

● スポーツ教室・交流会の充実

- (1) 様々な年齢層が参加しやすい種目を発掘し、スポーツ教室・交流会の内容を充実させます。
- (2) スポーツ教室・交流会の利用促進を図るための情報提供を積極的に行います。
- (3) 地域の高齢者と小中高生がスポーツを通して交流する機会づくりを推進します。


● スポーツをする機会の情報提供

- (1) 広報や市ホームページ等を活用して、市民体育大会などスポーツに関する行事やイベント情報を発信します。
- (2) トップアスリート交流事業やスポーツ教室を通じて、スポーツの楽しさや軽スポーツの紹介を行います。

● 選手育成と各種体育大会への派遣を支援

- (1) 各種スポーツ団体の強化と指導者、選手の育成を支援します。
- (2) 各種体育大会への派遣を支援します。

● 身近な場所でスポーツに親しめる環境の整備

- (1) 親子で参加できるスポーツのイベントを実施します。

施策3 スポーツ推進委員の活用

スポーツ推進委員は、市民に対するスポーツの実技指導やスポーツ活動促進のための組織育成など、地域スポーツの推進を目的に様々な活動を行っています。スポーツ推進委員を育成し、また活動の場を広げることにより、地域におけるスポーツの推進を図っていくことが必要です。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
地域活動への取組回数	66	80

【取組】

● スポーツ推進委員との連携強化

- (1) スポーツ推進委員の活動や取組を広報等で市民に紹介します。
- (2) スポーツ推進委員と、地域が連携できる体制づくりに努めます。
- (3) スポーツ推進委員と連携し、多世代が気軽に参加できるレクリエーションスポーツなど、スポーツ教室の充実を図ります。

● スポーツ推進委員の育成

- (1) スポーツ推進委員に研修会等への参加機会を提供し、委員の指導力向上に努めます。

施策4 体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携

少子化の影響によりスポーツ少年団の活動の縮小、スポーツ少年団の登録指導者の減少、クラブ活動の地域移行など、児童生徒のスポーツを取り巻く環境に様々な課題や変化が生じています。

こうした状況の中、課題を解消していくためには、体育協会・スポーツ少年団・クラブのそれぞれが情報を共有し、今まで以上に連携を強化することが必要です。児童生徒が学校でのスポーツ活動だけでなく、身近な場所で活動できる環境を整えることが必要です。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
スポーツ少年団指導者数	55	55

【取組】

● スポーツを行う機会の確保

- (1) 体育協会・スポーツ少年団・クラブの活動を支援し、市民がスポーツに接する機会や場を確保します。

● スポーツ指導者の人員確保

- (1) 体育協会・スポーツ少年団・クラブと情報共有を行い、スポーツ指導者の人員確保を支援します。
- (2) 指導者育成に関する各種研修会の情報を提供します。

基本目標 郷土愛を育む文化・芸術の振興

貴重な文化財を次世代に継承するため、保存や後継者育成等の活動を支援します。また、地域の歴史や文化財等を学ぶ機会を提供し、学校教育や生涯学習等に活用するとともに、市民が郷土の歴史や文化財等を再発見・再認識できるよう、積極的に情報を発信していきます。

さらに、幅広い世代が文化芸術にふれて関心を持てるような機会を充実させ、だれもが気軽に参加できる環境づくりに取組めます。

博物館等の再編や総合文化センターの移転統合に向けた検討を行います。

施策1 文化財の調査・保存・伝承等の推進

文化財の保存・活用には、文化財に対する理解・愛着を深めてもらうことが不可欠です。文化財の調査や保存・活用の成果を広く公開し、幅広い世代が気軽に文化財について学ぶ環境を整えるなど、市民の文化財保護意識の醸成を図るとともに、民間企業・団体等も積極的に文化財保護活動に参加できる環境の整備に努めます。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
指定・登録文化財の件数	105 件	110 件
文化財の保護・伝承等への支援件数（年間件数）	2 件	4 件
市民向け講座等の開催回数（年間回数）	4 回	4 回

※指定・登録文化財の件数は各年度 4 月 1 日時点の数値


【取組】● 文化財の調査・保存・伝承

- (1) 文化財の調査と成果の公表を継続します。また指定等の措置を講じて文化財の保存・伝承等に努めます。
- (2) 個人等が所有する文化財の保存、民俗文化財の後継者育成等を支援します。

● 郷土の文化財を学ぶ機会の提供

- (1) 文化財冊子・案内図の作成や文化財説明看板の設置・更新等を行うとともに個人等が所有する文化財の説明看板設置・更新等を支援します。
- (2) 郷土の歴史や文化財等を知るための市民向け講座等を開催するとともに、歴史案内ボランティアを育成します。

施策2 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実

誰もが文化芸術や文化財に親しみを持ち、その魅力等に触れることができる環境づくりや、優れた作品や様々な文化財の価値に興味・関心を持った人がより深く学び、体験できる仕組みづくりに取組めます。

また、活動の発表や作品等の展示、表現・交流することができる場や機会を設けるとともに、子どもたちが様々な場所で文化芸術に親しみ、自分が感じたことを発表できる機会を充実させるなど、様々なニーズにあった学習プログラムを提供していきます。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
博物館等（3館）と学校との連携件数	16件	20件
博物館等（3館）の展覧会開催件数	7件	7件
博物館等（3館）の講座等開催件数	13件	15件
博物館等（3館）の入館者数	31,175人	35,000人
瑞浪市美術展の来場者数	475人	700人


【取組】

● 市民の文化芸術活動の活性化

- (1) 市民による文化芸術の発表ができる機会を創出することで、市民の文化芸術活動の活性化を図ります。
- (2) 各種文化芸術活動団体との連携を通じ、市民の文化芸術活動の活性化を図ります。
- (3) 公民館文化祭、文化協会祭等の開催を通じ、公民館利用団体や地域の子どもが発表できる機会を創出することで、市民による文化芸術活動の活性化を図ります。

● 博物館等と学校との連携

- (1) 学校への出前授業や博物館等資料の貸し出しを推進するとともに、博物館等で開催される行事の情報提供に努めます。



● 博物館等における生涯学習の振興

- (1) 博物館等（化石博物館、陶磁資料館、市之瀬廣太記念美術館）において展覧会や講座等を開催します。

● 文化芸術に触れる機会の充実

- (1) 美術展の開催等を通じて、市民が身近に文化芸術に親しめる機会を創出します。
- (2) 自主事業の開催等を通じて、市民が様々な文化芸術に触れられる機会を創出します。

施策3 文化施設の充実

市民公園には特色ある博物館等（化石博物館、陶磁資料館、市之瀬廣太記念美術館）があります。これまで博物館等の館蔵資料の充実・調査・研究に努め、展示等普及活動の充実を図ってきましたが、施設の老朽化等のため、今一層の機能の充実に向け、施設の再編について検討を進める必要があります。

総合文化センターは、文化ホールの大規模改修により優れた舞台芸術の提供や市民の文化芸術の発表機会に対してある程度対応できる設備を導入しましたが、公共施設の再編を進める中で、駅北地区に、中央公民館機能の一部と図書館を集約し、新たな機能を加えた複合公共施設の整備について検討を進めていく必要があります。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
化石博物館の収蔵品数/冊子刊行件数（累計）	5,489/58	5,700/63
陶磁資料館の収蔵品数/冊子刊行件数（累計）	12,300/64	13,000/69
市之瀬廣太記念美術館の収蔵品数	325	330

【取組】

● 博物館資料の充実と調査、研究

(1) 博物館等資料の充実につとめ、調査・研究および成果の公表を継続します。

● 市民公園の博物館等再整備

(1) 来館者がより快適に利用できるよう、また機能の充実を図るため市民公園内の博物館等の再編に向けた検討を行います。

● 総合文化センターの施設整備

(1) 利用者がより快適に利用できるよう、総合文化センターの移転統合に向けた検討を行います。

施策4 文化芸術活動団体の支援

表現の自由を大切にしながら、独創的で創造性豊かな新たな文化の交流が活発に行われる環境づくりに取組ます。

また、多様な文化芸術活動の支援の充実を図ります。

【指標】

■ 成果指標及び目標

成果指標名	現状値 (2023年度)	目標値 (2028年度)
支援事業件数	3件	3件

【取組】

● 文化芸術活動団体の活動支援

- (1) 文化協会への補助制度を通じて、文化芸術活動の支援を図ります。
- (2) 公民館の利用料減免等を通じて、各種文化芸術団体の活動支援を図ります。



資料編

資料編

1 用語集

あ行	
ウェルビーイング	身体的、精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的、経済的に良好で満たされている状態にあること
SNS（エス エヌ エス）	Social Networking Service の略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のウェブサイトのこと。
か行	
家庭教育学級	保護者が親としての役割や責任を自覚するため、一定期間継続して、家庭における望ましい生活習慣や倫理観などを学ぶための活動。
教育振興基本計画	教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）に示された理念の実現と、我が国の教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため、同法第 17 条第 1 項に基づき政府として策定する計画のこと。
さ行	
人生 100 年時代	多くの人々が 100 年以上生きることが当たり前となる時代のこと。
スポーツ推進委員	市のスポーツ推進のため、市民に対してスポーツの事業に係る連絡調整、スポーツ実技の指導、その他スポーツ推進のための指導・助言を行う者。
た行	
地域学校協働活動	幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動。
地域コミュニティ	地域住民が生活している場所。日常生活でのふれあいや共同活動、共通の経験を通じて生み出される互いの連帯感や共同意識を持つ地域社会。
トップアスリート交流事業	スポーツ分野で活躍する監督・コーチ・学生を学校に招き、一緒に体を動かすことで、運動の楽しさや喜びを体験し、児童の体力向上の一助とする事業。
は行	
バリアフリー	年齢的特徴、身体的能力、意識的にみられるバリア（障壁）の要素を取り除くことで、誰もが過ごしやすい環境を整えること。
ら行	
レファレンス	図書館利用者の調査・研究のために必要な情報や資料などの求めに応じ、図書館員が資料を検索し、情報や資料の提供・回答を行うこと。